



CompTIA CDIA+試験出題範囲

試験番号: CD0-001

CompTIA CDIA+認定資格は、文書画像化/記録管理業界における能力と技術専門性を評価する、世界的に認知された資格です。

CompTIA の CDIA+を取得することにより、エンタープライズコンテンツシステムの計画、設計、および導入の全主要分野および技術に不可欠な知識とスキルを有していることを証明します。

CompTIA CDIA+認定資格取得者は、コンテンツ管理の概念(ビジネス分析プロセスや、コンテンツのライフサイクルとワークフローに加え、プロジェクト管理の基礎知識を応用したコンテンツイメージングシステムとビジネスアプリケーションの統合に関する概念など)を説明するのに必要な知識とスキルを有していることが証明されます。さらに、セキュリティ要件を満たしながらスキャン技術インフラストラクチャを導入し、キャプチャソリューションを設計できる能力も認定されます。

CompTIA CDIA+試験で評価されるスキルと知識は、業界全体および世界中のジョブタスクアナリシス(JTA)をもとに決定されています。CompTIA CDIA+では、24か月以上の経験を持つデジタルコンテンツイメージング担当者の職務要件における必要とされるスキルと知識を評価できるよう設計がされており、JTAの結果をもとに、出題範囲の出題比率などが決定されています。

CompTIA CDIA+の出題範囲には、出題比率と項目が記載されています。この出題範囲には、試験分野、出題比率、出題例が含まれています。出題例は出題範囲を明確にするためであり、試験の出題内容そのものを反映している訳ではありませんので、ご注意ください。

以下は試験分野および各分野の出題比率表です。※¹

| 試験分野 | 出題比率 |
|---------------------|------|
| 第1章 エンタープライズコンテンツ管理 | 20% |
| 第2章 キャプチャ | 23% |
| 第3章 ストレージとネットワーキング | 13% |
| 第4章 セキュリティとコンプライアンス | 16% |
| 第5章 分析、設計、および導入 | 28% |
| 合計 | 100% |

※¹ 分野別に取扱例があげられていますが、これらがすべての出題傾向を網羅しているわけではありません。また、この出題範囲に掲載がない場合でも各分野に関連する技術、プロセス、あるいはタスクについて、試験に含まれる可能性があります。本出題範囲は、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

第 1 章 エンタープライズコンテンツ管理 (20%)

1.1 索引、検索、情報の取り出しの適切な用途を説明する

- タクソノミー/ビジネス分類スキーマ
- メタデータ構造
 - ・ 索引
 - ・ ドキュメントクラス
 - ・ 属性
- アプリケーション接続 (ODBC)
- 全文検索
- エンタープライズ/横断検索
- 検索 – あいまい検索とブール演算子
 - ・ and
 - ・ or
 - ・ not
 - ・ <
 - ・ >
 - ・ ワイルドカード
 - ・ *
 - ・ !
 - ・ =
 - ・ ?

1.2 ワークフローの機能と用途を説明する

- 繰り返し可能なプロセス
- 逐次プロセス
- 並行プロセス
- キューと役割
- ビジネスルール
- ルーティング
- タイマーとアラート/通知
- ワークフローのステータス
 - ・ メトリクス
 - ・ レポート
- ワークフローの例
 - ・ 発注書処理
 - ・ 時間および経費処理
 - ・ 請求書処理
 - ・ 従業員の入社管理/退職管理
 - ・ 承認処理
 - ・ 昇格処理
- 作業量の分散
- 外部ルールおよび外部 BPM システム

1.3 共同作業機能の活用方法を説明する

- バージョン履歴
- ユーザー管理とログ記録
- チェックインとチェックアウト

- 同時編集/リアルタイムコラボレーション/共同オーサリング
- 注釈
 - ・ 改訂(手動 vs 自動)
 - ・ ハイライト
 - ・ スタンプ
 - ・ メモ

1.4 ドキュメント公開および出力機能を比較する

- ドキュメントの倍率
 - ・ 割合
 - ・ ビューアーのゆがみ
 - ・ 出力の整合性
- 向き
 - ・ モニター
 - ・ ページ
- ドキュメントビューアーの機能
 - ・ 偏光
 - ・ 色補正
 - ・ ズーム/ゾーン
 - ・ 精密測定
 - ・ ドキュメントのナビゲーションとページ分割(サムネイル)
- ビューアーのタイプ
 - ・ Web ベース(ブラウザ)
 - ・ プラグイン
 - ・ ベンダー固有
 - ・ 汎用ドキュメントビューアー
- リモート表示
 - ・ 帯域幅
 - ・ ピーククエリ要件
- レンディション(表現形態)
- ファイル印刷方法
 - ・ ドットマトリクス
 - ・ インクジェット
 - ・ レーザー
 - ・ 感熱
 - ・ ファイルに印刷
- 印刷出力言語
 - ・ Postscript
 - ・ PCL
 - ・ IPDS
- 電子メール
- Fax

1.5 コンテンツライフサイクルの目的を説明する

- コンテンツの目的と変更
- コンテンツの保存と保管(長期保存)
- コンテンツの権限と変更
- コンテンツの保持/削除
- オーディットトレイル

第2章 キャプチャ(23%)

2.1 シナリオに基づき、適切な入力ソースと方法を選択する

- モバイル
 - ・ 携帯電話
 - ・ タブレット
- Fax
 - ・ アナログ
 - ・ デジタル
- ホットフォルダー/ウォッチフォルダー
- 電子メールと添付ファイル
- デスクトップのアップロード/ドキュメントのインポート
- 作成時/作成元でのキャプチャ
- 別のシステムに転送された構造データ(EDI)
- ERM
 - ・ Postscript
 - ・ PCL
 - ・ IPDS
- 集中型または分散型キャプチャ
- 一括キャプチャ
- バーコードリーダー
- 外部キーボード
- RFID タグリーダー
- スクリーンスクレイピングによる索引値の収集
- 用紙
 - ・ 品質
 - ・ 重量
 - ・ 種類
 - ・ 寸法

2.2 シナリオに基づき、ドキュメントスキャニング技術およびプロセスを導入する

- キャプチャ処理の手順
 - ・ ドキュメントの準備
 - ・ キャプチャ
 - ・ 認識
 - ・ 検証
 - ・ 確認
 - ・ 品質管理
 - ・ リリース
- スキャナードライバー
 - ・ ISIS
 - ・ TWAIN
- ドキュメントの準備
 - ・ ドキュメントの物理的な準備
 - ステープラー針の除去
 - 並べ替え/順序付け
 - 枚数
- スキャナーの設定
 - ・ 明るさ

- ・ コントラスト
- イメージのクリーンアップ
 - ・ 傾き補正
 - ・ ノイズ除去
 - ・ 向きの自動設定
 - ・ カラードロップアウト
 - ・ 空白ページの除去
 - ・ ハードウェア vs. ソフトウェアクリーンアップ
- 自動ドキュメントフィーダー vs. フラットベッド
- 給紙検出/用紙サイズ検出
 - ・ 片面 vs. 両面
- 速度
 - ・ ppm
 - ・ ipm
 - ・ スループット
- 最大デューティサイクル/スループットの期待値
 - ・ 公表値 vs. 実際のスループット
- 埋め込み vs. 外部キーボードの入力
- 押印と印字
- スキャナーの種類
 - ・ 個人 PC 接続
 - ・ ワークグループレベル
 - ・ ネットワークプロダクションスキャナー
 - ・ 大容量
 - ・ MFP
 - ・ 専門用途のスキャナー
 - ラージフォーマット
 - フィルム
 - ハンドスキャナー
 - カードスキャナー

2.3 シナリオに基づき、認識方法および技術を区別する

- バーコード
- セパレーターシート
- カバーシート
- パッチコード
- インテリジェントキャプチャ
 - ・ ICR
 - ・ OCR
 - ・ IHR
 - ・ OMR
 - ・ MICR
- 無人 vs. 有人
- 非構造的な形状認識
 - ・ 認識
 - ・ 自動分類
 - ・ 抽出
 - ・ 分離
 - ・ データのグループ化/クラスタ化

- ・ 連想整合法
- ・ データのエクスポート
- 半構造的な形状認識
- 構造的な形状認識
- ドキュメントのキャプチャ vs. データキャプチャ
- 例外処理
- 形状の種類とメタデータの検証
 - ・ データベース vs. 手動
- 品質管理
- 登録マーク/アンカー

2.4 メタデータファイルのプロパティの目的を説明する

- 索引値
 - ・ 抽出された値または生成された値
 - ・ 日時スタンプ
 - ・ ドキュメントの種類に基づく自動定義
 - ・ デバイスでのプロンプト(MFP)
 - ・ XML タグ
- 継承
 - ・ フォルダーレベル
 - ・ コンテナ
- インポートファイルの種類
 - ・ xml
 - ・ csv
 - ・ txt
 - ・ tsv
 - ・ タグ付き

2.5 さまざまな物理ファイルの特性とその影響を区別する

- ファイルサイズおよび種類に基づく、ストレージまたはネットワーク帯域幅のニーズ予測
- ファイル暗号化
- 解像度 (dpi)
- ファイルの種類
 - ・ PDF
 - ・ PDF/A
 - ・ TIFF
 - ・ JPEG
 - ・ WMV
 - ・ BMP
 - ・ DOC
 - ・ TXT
 - ・ XLS
 - ・ MP3
 - ・ MP4
 - ・ WAV
- ファイルのサイズ
- 圧縮
 - ・ ロッシー vs. ロスレス
 - ・ Group4
 - ・ LZW

- ・ JBIG2
- ・ JPEG2000
- 色
- グレースケール(バイトーン)
- 白黒

第3章 ストレージとネットワーク(13%)

3.1 さまざまなストレージメディアの種類と付随する特性を説明する

- 磁気ディスク
- テープ
- 光学ディスク
- マイクロフィルム
- NAND フラッシュメモリ
- メディアの劣化

3.2 適切なストレージ方法とその機能を説明する

- SAN/NAS
 - ・ パフォーマンス
 - ・ 柔軟性
 - ・ サイズ
 - ・ 冗長性
 - ・ 帯域幅
- RAID
 - ・ I/O 速度
 - ・ 冗長性
 - ・ フェイルオーバー
- SSD
 - ・ アクセス速度
 - ・ 耐久性
- WORM(Write-once read many)
- クラウド
 - ・ 拡張性
 - ・ リモート
 - ・ コスト
 - ・ アクセシビリティ
 - ・ サポート
 - ・ サービスとしてのストレージ
- マイクロフィルム
 - ・ 目視で判読可能なフォーマット
- 直接接続ディスク/ローカルドライブ

3.3 さまざまなストレージ戦略を比較する

- クラスタ化
- 階層型ストレージ
 - ・ オンライン
 - ・ オフライン
 - ・ オンサイト
 - ・ オフサイト

- メトリクスとレポーティング
 - ・ 使用頻度
 - ・ 作成日
 - ・ データの種類
 - ・ 変更日
- ハイブリッドストレージ
- 階層型ストレージ管理

3.4 ネットワーク接続とハードウェアソリューションの基本を説明する

- ネットワーク接続
 - ・ 接続の種類
 - モデム
 - DSL
 - ISDN
 - T1
 - T3
 - 3G
 - 4G
 - 802.11 a/b/g/n
 - ・ クライアント/サーバーネットワーク
 - ・ 共有帯域幅
 - ・ セキュリティ
 - ・ 無線 vs. 有線
 - ・ LAN vs. WAN
- ハードウェアソリューション
 - ・ ワークステーション/サーバーハードウェアの考慮事項
 - 処理能力
 - メモリ
 - OS
 - ストレージ
 - ・ 仮想化
 - ・ クライアント
 - シンククライアント
 - シッククライアント

第4章 セキュリティとコンプライアンス(15%)

4.1 記録管理の基本を説明する

- 記録の価値
- デジタル記録の要件
- 訴訟ホールド
- 物理的アーカイブの要件
- 廃棄処理
- 政府の規制および政策の認識
- 業界標準とベストプラクティスの認識

4.2 さまざまなセキュリティ手法を説明する

- 認証 vs. 権限付与 vs. 監査
- SSO(シングルサインオン)
- 2ファクター認証(カードスワイプとPIN/パスワード)
- 役割ベースのアクセス
- 生体認証
- グループポリシー

4.3 ネットワークセキュリティのさまざまな要素を説明する

- VPN
- ディレクトリサービス
 - ・ Active Directory
 - ・ LDAP
- SSL/HTTPS
- SFTP
- 暗号化パスワード/平文なし
- データの暗号化
- PKI

4.4 シナリオに基づき、ドキュメントおよび情報に対して適切なセキュリティを実装する

- 改訂
- ウォーターマーク
- ドキュメントの権限
 - ・ 電子メール
 - ・ エクスポート
 - ・ 印刷
 - ・ コピー
 - ・ 編集
- 削除の種類
 - ・ メタデータ vs. フルドキュメント
 - ・ 安全な削除/復元不可能な削除
- 安全な印刷
- ライブラリサービス
 - ・ バージョン管理
 - ・ チェックインとチェックアウト
- PDFセキュリティ
- デジタル署名

第5章 分析、設計、および導入(28%)

5.1 プロジェクト管理の基本を識別する

- 当事者
 - ・ チャンピオン
 - ・ ステークホルダー(IT、人事、エンドユーザー、購買)
 - ・ エグゼクティブスポンサー
 - ・ プロジェクトマネージャー
 - ・ プロジェクト管理チーム
- フェーズ
 - ・ プロジェクトの立ち上げ
 - ・ 計画
 - ・ 実行
 - ・ 監視と管理
 - ・ 終了
- PM用語
 - ・ 変更管理
 - ・ リスク管理
 - ・ スコープクリープ
 - ・ コミュニケーションプラン
 - ・ マイルストーン
 - ・ プロジェクトのサインオフ
 - ・ パイロット
 - ・ テスト
 - ・ 概念実証
 - ・ スケジュール/GANTT
 - ・ PERT チャート
 - ・ カットオーバー
- ドキュメントの種類
 - ・ RFP
 - ・ RFI
 - ・ RFQ
 - ・ SOW
 - ・ MSA
 - ・ NDA
 - ・ SLA
 - ・ BAA
 - ・ 契約書
 - ・ 付録

5.2 適切な要件収集テクニックを実施する

- 顧客の目的を文書化する
- 運用上のビジネスニーズを把握する
- プロセスを分析する
- メトリクスを収集する
- 現在の状態(現状)を文書化する
- ボトルネックと問題点を把握する
- サンプルドキュメントと、最新のプロセスドキュメントを収集する
- インタビュー

- 観察
 - ・ ピークタイム
 - ・ ベンチマーク
 - ・ ユーザー数
 - ・ ライセンシング
 - ・ バックログ
 - ・ バックファイル
- ターゲットを絞った調査
 - ・ 技術面の調査 vs. ビジネスの調査
- プロセスの改善/新技術導入のチャンスを見極める
- 社内文化と組織の階層を理解する

5.3 収集されたデータを分析し、顧客要件を検証する

- データ検証
- 要件の検証
- ターゲットを絞ったプレゼンテーション
- ギャップ分析
- 既存のビジネスプロセスを将来の状態に対応付ける
- ビジネス要件をソリューションの利点に対応付ける
- 投資回収率(ROI)を算出する
 - ・ アナログ vs. デジタル
 - ・ ドキュメントの発送 vs. リモートキャプチャ
 - ・ スタッフの効率性
 - ・ マネージドサービス vs. インハウス
 - 国内 vs. 海外
 - ・ 紙形式での保存 vs. 電子形式での保存
 - ・ 温室効果ガス排出量の算定(カーボンフットプリント)
 - ・ 郵送 vs. 電子形式での配布
 - ・ 顧客サービスの改善
 - ・ データの品質と正確さ
- 顧客によるサインオフ

5.4 指定の要件に従ってソリューション設計を作成する

- ソリューション設計計画を策定する
 - ・ 必要に応じて代替ソリューションを数値化する
- 機能仕様を策定する
 - ・ ユーザーインターフェイス
 - ・ パフォーマンス
- 技術仕様を策定する
 - ・ セキュリティ/コンプライアンス要件
 - ・ ハードウェア/ソフトウェア/ネットワークの相互運用性
 - ・ ボリュームに従ってスキャナーを推奨
 - ・ 作業時間
 - ・ ファイルサイズ
 - ・ スループット
 - ・ デューティサイクル
- 適切な図表を作成する
 - ・ 高レベルなワークフロー図
 - ・ アーキテクチャ
- 顧客要件に基づき、関連技術/最新技術を推奨する

- ・ 顧客環境
- ・ 独自の課題
- ・ 予算
- ・ 競争環境
- 分散型スキャン vs. 集中型スキャン
- ソリューションの中核的なコンポーネントのシミュレーション/モデル化
- 成長のニーズと拡張性を考慮する

5.5 事業継続の概念を説明する

- バックアップと復元
- 高可用性/冗長性
- 災害復旧計画
- SLA に基づくスキャナーハードウェア/可用性の冗長性、メンテナンス

5.6 実装手順およびテスト手順を実施する

- 実装計画を策定する
- インストールと構成のガイドライン
- テスト計画
- キャプチャの調整と最適化
- 管理者およびエンドユーザーのトレーニング
- 技術文書の配布
- 納品と承認
 - ・ 成功の基準と評価
- 現在のメトリクスの収集と監視

CompTIA CDIA+ 略語一覧

下記はCompTIA CDIA+認定資格試験で使用される略語の一覧です。受験者は、試験準備の一環として、これら用語を復習し、理解することをお勧めします。

| | | |
|---------|---|----------------------------------------------|
| ADF | — | Automatic Document Feeder |
| AP | — | Accounts Payable |
| B2B | — | Business to Business |
| B2C | — | Business to Customer |
| BAA | — | Business Area Analysis |
| Bit Map | — | Bit Map |
| BPM | — | Business Process Management |
| CAR | — | Computer Assisted Retrieval |
| CD | — | Compact Disc |
| CD-R | — | Compact Disc Recordable |
| CEO | — | Chief Executive Officer |
| CFO | — | Chief Financial Officer |
| CIO | — | Chief Information Officer |
| CMIS | — | Content Management Interoperability Services |
| CMYK | — | Cyan, Magenta, Yellow, Black |
| COLD | — | Computer Output to Laser Disk |
| CRM | — | Customer Relationship Management |
| CSS | — | Cascading Style Sheets |
| CSV | — | Common Separated Variable |
| DDS | — | Digital Data Storage |
| DLT | — | Digital Linear Tape |
| DMS | — | Document Management System |
| dpi | — | dots per inch |
| DRM | — | Digital Rights Management |
| DSL | — | Digital Subscriber Line |
| DVD | — | Digital Video Disc |
| ECC | — | Error Correction Control |
| ECM | — | Enterprise Content Management |
| EDI | — | Electronic Data Interchange |
| ERM | — | Enterprise Risk Management |
| ERP | — | Enterprise Resource Planning |
| FTP | — | File Transfer Protocol |
| GB | — | Gigabyte |
| GIF | — | Graphics Interchange Format |
| HSM | — | Hierarchical Storage Management |
| HTTP | — | Hypertext Transfer Protocol |
| HTTPS | — | Hypertext Transfer Protocol Secure |
| I/O | — | Input/Output |
| ICR | — | Intelligent Character Recognition |
| IDE | — | Integrated Drive Electronics |
| IHR | — | Internet Health Resources |
| IPDS | — | Intelligent Printer Data Stream |
| ipm | — | Images per minute |
| ISDN | — | Integrated Services Digital Network |
| ISIS | — | Image and Scanner Interface Specification |

| | | |
|----------|---|----------------------------------------------------------------------------------------|
| IT | — | Information Technology |
| JDBC | — | JAVA Database Connect |
| JPEG | — | Joint Photographic Expert Group |
| K | — | Thousand |
| KB | — | Kilobyte |
| LAN | — | Local Area Network |
| LDAP | — | Lightweight Directory Access Protocol |
| MAC | — | Macintosh |
| MBps | — | Megabytes per second |
| MFD/MFP | — | Multi-functional Device / Multi-functional Peripheral |
| MICR | — | Magnetic Ink Character Recognition |
| MSA | — | Master Service Agreement |
| NAND | — | Not And |
| NAS | — | Network Attached Storage |
| NDA | — | Non-Disclosure Agreement |
| OCR | — | Optical Character Recognition |
| ODBC | — | Open Database Connectivity |
| ODMA | — | Open Document Management API |
| OMR | — | Optical Mark Recognition |
| OS | — | Operating System |
| PC | — | Personal Computer |
| PCL | — | Printer Control Language |
| PDF | — | Portable Document Format |
| PDL | — | Page Description Language |
| PKI | — | Public Key Infrastructure |
| POP3 | — | Post Office Protocol version 3 |
| ppm | — | pages per minute |
| PS | — | Postscript |
| RAID | — | Redundant Array of Independent Disks |
| RFI | — | Request For Information |
| RFID | — | Radio Frequency Identification |
| RFP | — | Request For Proposal |
| RFQ | — | Request For Quote |
| RGB | — | Red, Green, Blue |
| ROI | — | Return on Investment |
| SaaS | — | Software as a Service/Storage as a Service |
| SAN | — | Storage Area Network |
| SCSI | — | Small Computer System Interface |
| SFTP | — | Secured File Transfer Protocol |
| SLA | — | Service Level Agreement |
| SMTP | — | Simple Mail Transfer Protocol |
| SNMP | — | Simple Network Management Protocol |
| SOW | — | Statement of Work |
| SQL | — | Structured Query Language |
| SSL | — | Secure Sockets Layer |
| TCP / IP | — | Transfer Control Protocol / Internet Protocol |
| TFTP | — | Trivial File Transfer Protocol |
| TIFF | — | Tagged Image File Format |
| TWAIN | — | The TWAIN Working Group provides a specification that helps scanner and camera vendors |

| | | |
|------|---|-------------------------------|
| TXT | — | Text file |
| USB | — | Universal Serial Bus |
| VPN | — | Virtual Private Network |
| WAN | — | Wide Area Network |
| WAV | — | Windows Wave |
| WCMS | — | Web Content Management System |
| WMV | — | Windows Media Video |
| WORM | — | Write Once, Read Many |
| XML | — | Extensible Markup Language |